

会 員 各 位

一般社団法人日本トンネル技術協会

事業委員長 入 江 健 二

公印略

第11回山岳トンネル維持管理業務講習会(実践編)開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から本会事業活動には種々ご支援賜り誠に有り難うございます。

さて、本会では保守管理小委員会（委員長：井料 青海）企画のもと第 11 回目となる維持管理業務講習会（実践編）を、下記のとおり実施することといたしました。基礎編では、現場での点検作業に従事することができるレベルの技術者の育成を目的として実施しますが、実践編では、現場での点検作業に加えて、診断や補修・補強等の措置に関して指導できるレベルの技術者の育成を図ることを目的として実施します。対象とする構造は矢板工法及び NATM で施工されたトンネルとし、調査、診断、措置を主な講習範囲とします。

山岳トンネルの維持管理業務に携わる技術者の皆様にとりまして、施工事例を踏まえた大変有意義な講習会と存じますので、多数ご参加くださいますようご案内いたします。

なお、今回は会場参加及び Zoom システムを利用したリモート参加（聴講）の併用型講習会と致します。

敬 具

記

1. 開 催 日：令和 9 年 1 月 2 9 日（金） 9：30～17：00
2. 拠点会場：コンワビル13階第 2・3 会議室 〒104-0045 中央区築地1-12-22
3. プログラム：別紙のとおり
4. 定 員：会場参加 40 名、WEB 参加 100 名
(会場参加の場合、定員になり次第、締切とさせていただきます)
5. 受 講 費：会場参加 個人会員 12,000 円、団体会員 14,000 円、非会員 18,000 円
(テキスト代込み) WEB 個人会員 10,000 円、団体会員 12,000 円、非会員 15,000 円
6. 受講申込と支払方法

①受講申込方法：

令和 9 年 1 月 1 5 日（金）までに、本会ウェブサイト申込フォームから申込みをお願いします。申込完了後、メールにより受付番号をご連絡いたします。なお、電話での申し込みは受け付けておりませんのでご了承ください。

②受講費のお支払方法

参加費は、受付番号発行後、郵便振替用紙通信欄に行事名と参加者氏名、受付番号を記入の上、令和 9 年 1 月 2 2 日（金）までに下記によりお振込みください。領収書をご希望の方は別途、お申し出ください。なお、参加費の払戻しはいたしかねますが、団体会員の場合の代理参加は差し支えありません。

郵便振替口座 00160-7-196331 一般社団法人日本トンネル技術協会

③受講要領等

当日の資料、事前質問提出要領等につきましては、講習会開催3週間前頃にダウンロード方式により送付いたします。

また、リモートでの受講要領については、後日本会ウェブサイトに掲載いたしますので、必ずご確認ください。

7. その他：

①当日の講義資料に対する質問を事前に提出頂き、各講義等の中で可能な限り質問に対応して参ります。受講要領に示すとともに、受講者に対しては改めてご案内いたします。

②本講習会は(公社)土木学会のCPDプログラムとして申請中です。認定後は、本会ウェブサイトに掲載いたします。

③お問い合わせ 講習会に関する質問は下記にお願いいたします。

(一社)日本トンネル技術協会 維持管理講習会実践編係

TEL:03-3524-1755 e-mail : event@japan-tunnel.org

拠点会場案内図

コンワ会館 13 階会議室 〒104-0045 中央区築地 1 丁目 12-22 コンワビル



第11回 山岳トンネル維持管理業務講習会（実践編）プログラム

開催日：令和9年1月29日（金）、9：30～17：00

コンワビル13階第2・3会議室

〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22

基本プログラムを以下に示しますが、質問への対応で変更（延長）の可能性がございます。

- 09:30～09:40 (10) 講習会の取組み 梶山 大貴
東日本旅客鉄道(株) テクノロジー&イノベーション推進本部 構造技術センター主務
(内容：講習会の目的と概要、保守管理の現状)
- 09:40～11:05 (85) トンネル変状に対する調査と診断…………… 太田 裕之
応用地質(株) 技術本部 技師長
(点検結果に基づく、調査計画の立案及び、健全性の診断に際しての留意点)
- 11:05～11:10 (5) 質疑応答
- 11:10～11:20 (10) 休憩
- 11:20～12:15 (55) 診断に基づいた措置…………… 野城 一栄
(公財) 鉄道総合技術研究所 構造物技術研究部 トンネル研究室
エキスパートマネージャー
(診断に基づいた措置（剥落防止・外力・漏水対策）の体系的な考え方)
- 12:15～12:20 (5) 質疑応答
- 12:20～13:20 (60) 昼食
- 13:20～14:15 (55) 道路トンネルの補修補強…………… 金藤 和慶
(株) 高速道路総合技術研究所 道路研究部 トンネル研究室 室長
(変状の概要、特定更新の計画およびインバート対策工事の実施状況)
- 14:15～14:20 (5) 質疑応答
- 14:20～14:30 (10) 休憩
- 14:30～15:25 (55) 鉄道トンネルの補修補強…………… 水野 光一郎
東日本旅客鉄道(株) テクノロジー&イノベーション推進本部 構造技術センター
地下・トンネル構造ユニット マネージャー
(変状の概要と剥落対策や外力対策などの補修・補強の事例)
- 15:25～15:30 (5) 質疑応答
- 15:30～15:40 (10) 休憩
- 15:40～16:45 (65) トンネル構造物の管理者のあり方…………… 木村 定雄
金沢工業大学 工学部 環境土木工学科 教授
- 16:45～16:50 (5) 質疑応答
- 16:50～17:00 (10) まとめ (前掲) 梶山 大貴
(内容：まとめ)